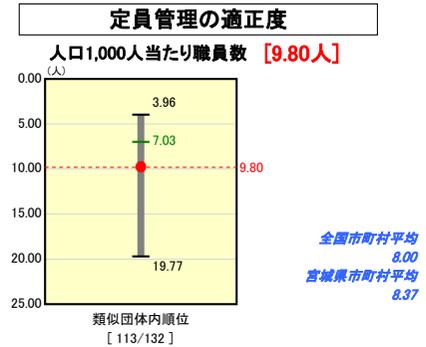
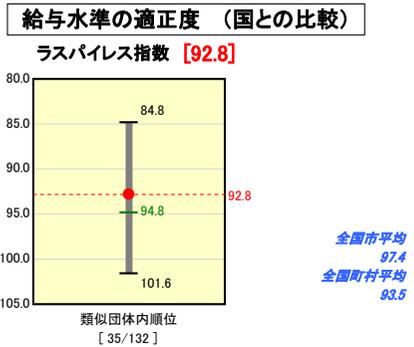
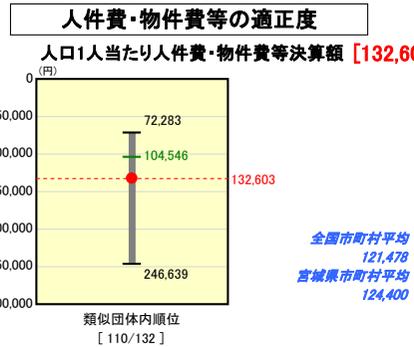
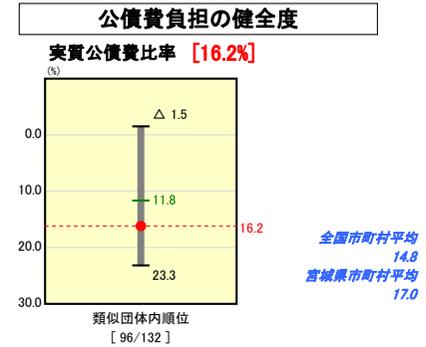
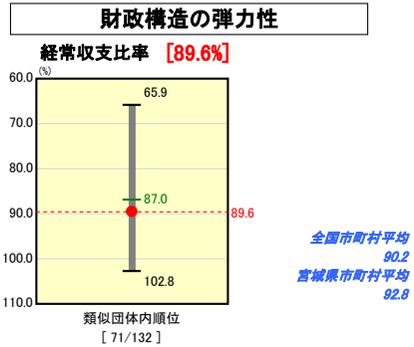
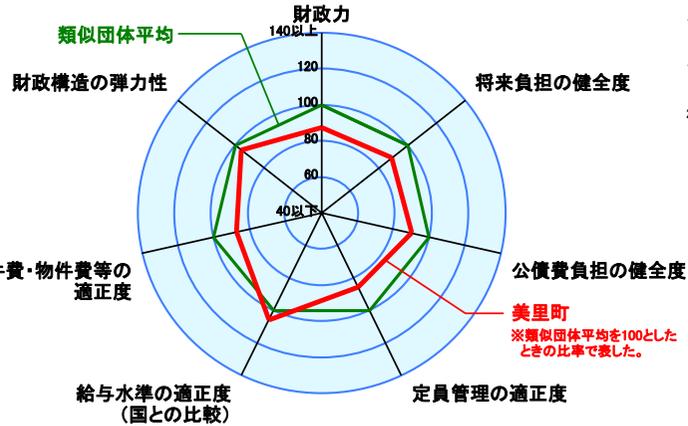
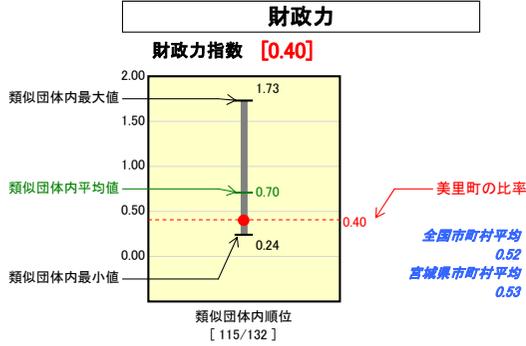


# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

## 宮城県 美里町

人口	26,733	人(H18.3.31現在)
面積	75.06	km <sup>2</sup>
歳入総額	10,834,994	千円
歳出総額	10,650,396	千円
実質収支	168,408	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

#### ■財政力指数

・景気低迷による税収の減収及び65歳以上人口が36.3%と高いことなどから類似団体を下回っている。事務事業を抜本的に見直し、税金等徴収率の改善(3年間で3%増)及び広告事業の推進(3年間で500万円確保)など、自主財源の確保対策につとめる。

#### ■経常収支比率

・市町村合併に伴う投資的事業の展開により、類似団体平均を上回っている。事業の完了により、物件費や公債費などの増加、今後見込まれる扶助費の増加等によって、さらに上回ることが予想される。財政健全化計画を早期に策定し、中長期的視点に立った計画的かつ健全な財政運営を行う。

#### ■人口1人当たり人件費・物件費等決算額

・人件費が生ずる要因となり類似団体平均を上回っている。これは50歳代の職員構成比率が高いためであり、定員適正化計画に基づき、各年代別職員構成比率の平準化を図るとともに、物件費、特に委託料についても委託先の選定には競争原理をより働かせ、コストダウンに努める。

#### ■ラスパイレクス指数

・合併に伴う給与体系の見直し等により、類似団体平均及び県内類似団体平均を下回っている。引き続き各種手当等を含めた人件費の見直しを図り(3年間で4億円)、より一層の適正化を図る。

#### ■人口1人当たり地方債現在高

・市町村合併に伴う投資的事業の財源とするための地方債の発行により、類似団体平均を上回っている。新町建設計画における投資的事業の実施年度の見直しや投資的事業の優先順位付けによる事業の取捨を行うなど、適正な財政運営に努める。

#### ■実質公債費比率

・平成21年度をピークに減少に転ずるが、今後、合併特例事業債の発行が見込まれるため、新町建設計画における投資的事業の実施年度の見直しを図り、平準化に努める。

#### ■人口1,000人当たり職員数

・合併に伴い類似団体平均より上回っている。定員適正化計画に基づき、職員定数の削減(5年間で20%の削減)を行う。